

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部						
2-⑧	災害に強いまちづくりを推進する	まちづくり政策部、土木部						
所管事業に関連する成果指標								
指標名	単位	計画策定時	実績値				31年度目標値	進捗状況
			27年度	28年度	29年度	30年度		
緊急輸送路等にかかる橋りょうの耐震化進捗率	%	50	50	57	70	73	70	A
国道に埋設されている公共下水道施設の耐震化進捗率	%	13	13	13	14	15	29	C
建物の耐震化に関する補助制度周知数(年間)	回	8	9	16	17	18	15	A
土のうステーションの設置数	箇所	9	11	11	11	12	12	A
関連事業								
○橋りょう震災対策事業○公共下水道管路地震対策事業○公共下水道整備事業○建物の耐震性向上促進事業								
決算額								
	28年度	29年度	30年度	31年度				
事業費(千円)	1,060,325	490,016	766,345					
執行率(%)	81.49	49.64	66.10					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」								
<ul style="list-style-type: none"> ・落橋防止装置設置工事や耐震補強設計を行い、震災時における落橋を防止するとともに、「平塚市橋りょう耐震化計画」の策定を通じ、橋りょうの耐震化を推進しました。また、下水道総合地震対策計画に基づき、国道1号内に埋設されている管渠の耐震化や耐震化工事の発注を行い、耐震化を進めたほか、平塚市総合浸水対策基本計画の重点対策地区に位置づけられている地区の雨水管渠工事を行い、浸水対策を推進しました。 ・職員による木造住宅戸別訪問活動の実施、建築士との住宅耐震相談会の開催及び危険なブロック塀の所有者への訪問等による耐震化の啓発並びに木造住宅の耐震診断、耐震改修及び危険なブロック塀の除却等に補助金を交付し、耐震化を推進しました。 								

施策を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・ 緊急輸送道路等に架かる橋りょうについて、計画的に耐震化を進める必要があります。また、国道1号の管渠の耐震化工事は、施工時間や車線規制などの多くの制約を受け、施工に時間を要し、施工費も高額となります。集中豪雨に対しては、緊急かつ効率的に浸水被害の軽減を図る必要があります。
- ⇒ 優先度の高い橋りょうから長寿命化修繕との調整を図り、設計委託や補強工事を行うとともに、下水道総合地震対策計画に基づき、道路管理者や交通管理者と協議を重ね、施工範囲や発注方法など事業の効率化を図ります。また、被害の状況や特徴に対応した浸水対策を実施するとともに、河川管理者と連携し、浸水被害の軽減を図ります。
- ・ 建物の耐震化を進めるためには、大地震時の倒壊の危険性を周知するとともに、耐震化の必要性について市民の理解を促す必要があります。
- ⇒ 職員による木造住宅戸別訪問活動及び住宅耐震相談会開催等の啓発活動に継続的に取り組みます。また、建物の耐震化促進事業に係る補助金交付要綱を的確に運用します。